

令和6年度第1回岡山市総合教育会議

日 時：令和6年8月27日（火）

午後3時30分～

場 所：岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

学力の向上に向けた取組について

3 閉 会

学力の向上に向けた取組

～全国学力・学習状況調査、岡山市学力アセスの結果から～

第2期教育大綱(R3～R7) (岡山市がめざす子どもの姿) 自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども

<<目標>> ■ 全国平均レベル以上の学力(全国学力・学習状況調査の偏差値) 小学校・中学校50以上 ■ 全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率 対全国比1以上 ■ 探究的な学習をしていると感じる児童生徒の割合 全国平均レベル以上	→	<<R6の状況>> 達成 (小6 国50 算50、中3 国50 数50) 未達成 (小6 国 ▲0.6、中3 数 ▲0.8) 未達成 (小6 ▲3.0%、中3 ▲2.2%)
---	---	---

【R6全国学力・学習状況調査・岡山市学力アセス結果の分析】

◎ 平均正答率が全国平均レベル以上

- 基本的な知識・技能を問う問題の平均正答率が向上。基礎学力の定着が図られている。ただし、小学校低学年を中心に課題が見られる。

▲ 無解答率が改善

- 昨年度と比べ国語の無解答率に改善が見られたが、対全国比及び数学に課題が残る。

▲ 記述式問題の正答率が全国平均レベルに達していないものがある

- 目的や意図に応じて自分の考えを伝えること等、深く思考して表現することに課題がある。

要因

○ 小6算数の学力が向上 R5岡山市学力アセス 小5算数 平均正答率 61.9% (全国 67.1%) 偏差値 48	➔	R6全国学力・学習状況調査 小6算数 平均正答率 64.0% (全国 63.4%) 偏差値 50
○ 国語の無解答率が改善(全国学力・学習状況調査) 小 R5 4.9%(全国 4.8%) 中 R5 4.9%(全国 4.6%)	➔	R6 3.9%(全国 4.2%) R6 4.0%(全国 3.9%)

要因

○ 中学校の記述式問題の正答率(対全国比)が引き続き課題 R1 0.96 → R3 0.98 → R4 0.99 → R5 1.00 → R6 0.99
--

【小6算数の学力が向上した要因】

昨年度、岡山市学力アセスの調査結果を校長会で共有。
(全国平均を上回った学校は、わずか10校/86校) 岡山市平均61.9点 (全国平均67.1点)

各学校の取組

- 教職員で共通理解を図り、無解答率減に向けて「やり切る力」がつくよう意識した授業や、対話を重視した協働的な授業を実施した。
- 学校で実施する重点的な取組を「基礎基本の定着」から「協働的な学びを重視」に変更した。
- 学年団で結果を分析して共有。分析結果をもとに、算数が苦手な児童を意識した導入の工夫や図形に関する丁寧な指導(丁寧な作図、自分の言葉で表現する等)に取り組んだ。
- 校内研修で、改善プランを検討し、決まったことを全教員が実践するようにした。

教育委員会の取組

- 岡山市の課題に沿った良問を提供し、授業での活用を促した。
- 提案授業(国・算・総合)の共同研究を行い、指導案や動画を公開し、活用を促した。
- 個々の課題に応じたICTの活用を促した。

【記述式問題の正答率に課題が残る要因】

情報を収集し、考えをまとめて発表する学習が十分でない(児童生徒質問調査より)

- 自分の考えを整理して発表したり、話し合い活動を通して考えを広げ・深める学習が十分でない。
- 自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動が十分でない。

各教科における授業改善が十分でない(学校質問調査より)

- 国語: 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるような指導に課題がある。
- 数学: 答えを求めるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒が筋道を立てて説明するような授業づくりに課題がある。

学力の向上に向けた取組

～全国学力・学習状況調査、岡山市学力アセスの結果から～

結果から分かった主な課題

目的や意図に応じて、
自分の考えをまとめること

自分の考えが
相手に伝わるよう
工夫して表現すること

知識を活用して、
深く考えること

今後行うべき具体的な取組

教育委員会

主な課題の解決に向けて提案する授業(以下、提案授業)の作成・展開

- ・ 学校との共同研究により、提案授業を作成。授業動画や学習指導案やワークシート等を提供し、活用を促す。

<提案授業>

国語、算数・数学、その他の教科、総合的な学習の時間について、「目的や意図に応じて自分の考えをまとめること」「自分の考えが相手に伝わるよう工夫して表現すること」「知識を活用して、深く考えること」のいずれかに重点をおいた授業づくり

ICTを効果的に活用した授業改善の推進

- ・ 授業支援ソフトやデジタル教科書等のICTを効果的に活用した実践事例を作成・収集・提供する。

授業改善に必要な情報を発信(毎月)

岡山市が目指す授業の共通理解を図るための研修を実施

学校

提案授業をもとにした授業改善を全教科で実施する

指標

① 全ての学校でふりかえりを実施する。

<ふりかえりをしている小・中学校の割合
R4 85.5% → R5 96.8% → R7 100%

② 無解答率を全国平均以下にする。

<全国学調の無解答率の対全国比>
R5 1.1 → R6 1.0 → R7 1.0以下

③ 子どもたちがICTを活用する授業を実施する。

<授業で毎日ICT機器を使用している子どもの割合>
R2 小4.4% → R4 17.9% → R5 19.8% → R7 100%
中4.7% → 6.6% → 13.7% → 100%

学力の向上に向けた取組

～全国学力・学習状況調査、岡山市学力アセスの結果から～

第2期教育大綱(R3～R7)

(岡山市がめざす子どもの姿) **自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども**

児童生徒一人ひとりへの働きかけが必要

全国学力・学習状況調査児童生徒質問調査より

○ 自分には、よいところがあると思う
小:50.0% (6.6) 中:43.8% (3.4)

○ 先生はよいところを認めてくれている
小:61.1% (12.3) 中:51.9% (7.7)

▲ 将来の夢や目標を持っている
小:57.4% (▲3.2) 中:35.2% (▲0.9)

▲ 人が困っているときは、進んで助けている
小:45.0% (▲1.0) 中:37.3% (▲1.0)

▲ 人の役に立つ人間になりたいと思う
小:70.6% (▲0.7) 中:67.8% (▲0.8)

キャリア教育の充実

- ・ 自己理解
- ・ 社会貢献
- ・ キャリアプランニング 等

自分の目標をもつ

- ・ 学習への動機づけ
- ・ 集団の中での、個の学びの充実
- ・ 個々の興味関心に沿った学びの推進

取組の方策

- ・ 岡山市学力アセス、生活状況調査の効果的な活用
学習面・・・岡山市学力アセスの個票で、自分の得意・不得意を知る
生活面・・・生活状況調査の個票で、自分の良さを知る 等
- ・ キャリアパスポートの見直しと活用
※ キャリアパスポートとは、小学校から高等学校を通じて、学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりしながら、自己実現につなぐポートフォリオ

小学校

- ・ 社会性、自主性・自立性
- ・ 関心・意欲
- ・ 働くことの大切さの理解

中学校

- ・ 社会における自らの役割や将来の生き方等
- ・ 勤労観・職業観等
- ・ 進路の選択・決定に導く

高等学校

- ・ 進路の具体化
- ・ 社会的・職業的自立に必要な能力や態度 等

キャリアパスポート(各学年毎学期、各行事等、学年末) ※「学年末」は、高等学校まで保存

学力アセス、生活状況調査の個票をもとに自己分析

※4段階の回答方式で「1当てはまる」と回答した割合のみ

学力の向上に向けた取組

～全国学力・学習状況調査、岡山市学力アセスの結果から～

R6全国学力・学習状況調査の結果

※R2は実施なし

① 偏差値

		R1	R3	R4	R5	R6
小学校	国語	51	50	51	50	50
	算数	50	50	50	50	50
中学校	国語	50	50	50	50	50
	数学	50	50	50	51	50
	英語	49			50	

② 無解答率の対全国比

		R1	R3	R4	R5	R6
小学校	国語	1	0.9	0.8	1	0.9
	算数	1	0.9	0.9	1.1	0.9
中学校	国語	1.4	1.1	1.1	1.1	1
	数学	1.2	1.1	1.1	1	1.1
	英語	1.2			1.1	

⑤ 質問調査

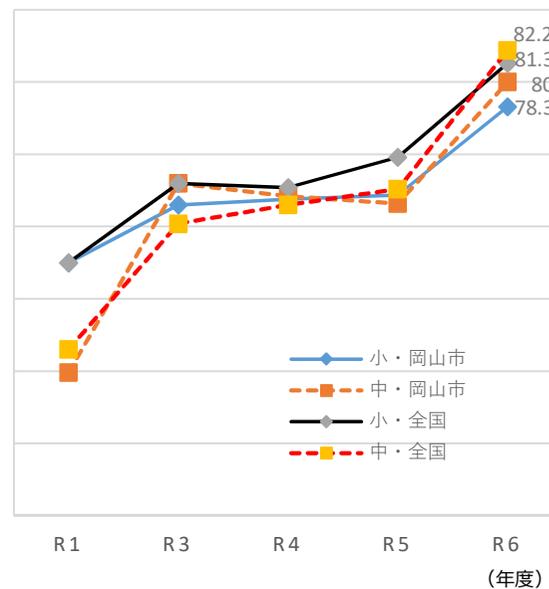
○先生はよいところを認めてくれている	小：93.4% (3.5)	中：92.6% (2.2)
○自分には、よいところがあると思う	小：87.3% (3.2)	中：85.0% (1.7)
▲自分の考えがうまく伝わるよう、話の組立てなどを工夫して発表していた	小：64.5% (▲3.1)	中：58.0% (▲6.8)
▲話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている	小：87.1% (0.8)	中：85.3% (▲0.8)
▲将来の夢や目標を持っている	小：80.2% (▲2.2)	中：63.4% (▲2.9)
▲人が困っているときは、進んで助けている	小：88.2% (▲3.4)	中：86.2% (▲1.9)
▲人の役に立つ人間になりたいと思う	小：96.1% (0.2)	中：95.0% (▲0.2)
▲授業で、コンピュータなどを毎日使用する子どもの割合	小：19.8% (5.5)	中：13.7% (▲17.3)

※4段階の回答方式で「1当てはまる」「2どちらかといえば当てはまる」と回答した割合

③ 記述式問題の正答率

	R1	R3	R4	R5	R6
小学校	1.00	1.01	1.03	1.01	1.00
中学校	0.96	0.98	0.99	1.00	0.99

④ 探究的な学習をしている児童生徒の割合



R6岡山市学力アセスの結果

⑥ 偏差値

		国語		算数・数学	
		R5	R6	R5	R6
小学校	2年	50	50	50	50
	3年	49	50	49	49
	4年	49	48	49	49
	5年	50	50	48	50
中学校	1年	51	51	50	50
	2年	50	51	50	51

⑦ 無解答率の状況

		国語		算数・数学	
		R5	R6	R5	R6
小学校	2年	8.9	8.8	3.7	5.3
	3年	10.6	7.2	7.5	4.6
	4年	9.9	7.4	5.8	5
	5年	6.7	6.4	7.1	7.9
中学校	1年	8.9	7.4	4.3	4.4
	2年	9.3	6.8	7.6	7.7

※ **■** は、全国の数値がないため、前年度と比較

⑧ 記述式問題の正答率

		国語		算数・数学	
		R5	R6	R5	R6
小学校	2年	0.98	0.97	0.81	0.82
	3年	1.03	0.98	1.19	0.98
	4年	0.92	0.91	0.99	0.92
	5年	0.96	0.94	0.81	1.06
中学校	1年	1.04	1	0.98	0.97
	2年	0.95	0.93	0.87	0.93